

公益財団法人国際医学研究振興財団

2026年度 事業計画書

(2026年4月1日から2027年3月31日まで)

当財団は、医学に関連する先端的研究を奨励することにより、医学医療の振興を図り、もって国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的として、2026年度において海外留学助成事業および国際シンポジウム助成事業を行う。事業ごとの実施内容は以下のとおりである。

I. 海外留学助成事業

疾病の病態生理の解明や予防・診断・治療に関連する基礎医学および臨床医学研究のために海外留学をする研究者の留学費用を助成する。

応募期間	2026年6月から同年8月までの間で、別途、当財団が定める期間
採択予定人数	5名（但し、うち1名を女性優先枠とする。）
助成期間	原則2年間
助成金額	1年あたり最大600万円/名 但し、当財団の助成に他財団等からの助成を合わせた額が年額1,000万円を超える場合、当該超過額を当財団の助成から減額する。
助成対象者	1. 日本国籍を有する者、または日本への永住が許可されている者 2. 書類締切日に満40歳未満の者（女性研究者は45歳未満）あるいは、学位取得後5年未満の者 3. 博士号をすでに有するか2027年3月末の取得予定、またはそれと同等以上の研究業績を有する者 4. 海外での研究予定期間が2年以上の者 5. 過去において、1年以上の研究留学の経験がない者 6. 2027年1月から12月末までに立出し、2年以上の海外留学を予定している者 7. 海外の学術研究機関による受け入れの承諾を得ている者
助成非対象者	1. 営利団体・企業の研究機関に所属している者 2. 営利を目的とした民間研究所へ留学を希望する者 3. 既に当財団の留学助成を受けたことのある者
応募条件	1. 所属する施設の責任者の推薦があること 2. 面接（Web）および贈呈式に出席すること
応募方法	当財団ホームページトップ画面の「助成金申請 WEB 登録システム」から手順に従い応募すること
選考方法	1. 学術委員会で書類選考のうえ、書類選考通過者を面接（Web）した後、理事会に諮り決定する。 2. 書類選考においては、学術性（留学先の魅力・先進性）、計画

	の妥当性（実効性）、実績および将来性を評価ポイントとする。
選考結果発表	書類選考の結果を応募者全員にメールで通知し、採択者については、本人と推薦者へ文書で通知するとともに当財団のホームページで発表する。
助成金の交付	指定の国内口座に振り込む。
助成受給者の義務	<ol style="list-style-type: none"> 1. あらかじめ届けられた海外研究機関の指導者のもとで研究に専念すること。 2. 留学中の連絡先（研究機関及び自宅の住所、電話、メールアドレスなど）を渡航後速やかに当財団に連絡すること。 3. 助成期間中に当該研究機関での研究を中止した時は直ちに当財団に連絡すること。研究中止後の助成は打ち切られる。故意に連絡が遅れた時などは、助成金の返却を求める。 4. 留学先の在籍証明書を当財団に提出すること。 5. 留学1年後に、研究の進捗状況を当財団に報告すること。 6. 留学終了後（2年後）直ちに、研究成果の報告書を当財団に提出すること。この報告書は当財団のホームページなどで公表することがある。研究期間が2年より延びる場合は、あらかじめ当財団に連絡すること。 7. 研究成果を論文などで発表する場合は、「公益財団法人国際医学研究振興財団（International Medical Research Foundation）の助成による」旨を書き添えること。 8. 留学終了後、収支報告書を提出すること。 9. 留学終了後帰国時には直ちに当財団に連絡すること。
事業費	海外留学助成事業費として 66,611 千円を見込んでおり、フューチャーブレイン株式会社の寄附金を財源とする予定。

II. 国際シンポジウム助成事業

日本国内および海外で開催する医学研究に関する国際シンポジウムを後援し、我が国における医学研究振興の一助とする。

	国内開催	海外開催
助成対象シンポジウム	<ol style="list-style-type: none"> 1. 原則として、我が国で単独で行われる国際会議。 2. 参加総数がおおむね 100 名以上、1,000 名以下程度の規模の国際会議。 3. 参加者における外国側参加者の割合は 1 割以上が望ましい。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 海外で行われる国際会議。 2. 同左 3. 参加者における外国側参加者の割合は 5 割以上が望ましい。

	<p>4. 実行委員会を組織し、必要な実施体制を整備していること。</p> <p>5. すでに確立している中～大規模な学術集会の定例的な年会や季会、また、それらの分科会などは対象としない。</p> <p>6. 複数の企業等からの高額な助成を見込む会議は対象としない。</p>	<p>4. 同左</p> <p>5. 同左</p> <p>6. 同左</p>
開催対象期間	2027年4月1日から2028年3月31日の間に開催する集会	
申請者資格	<p>1. 国内の大学または研究施設などに所属する医学研究者で、国際シンポジウムの開催責任者（主宰者）であること。</p> <p>2. 申請は1人につき同一年度内1件とする。</p>	<p>1. 国内の大学または研究施設などに所属する医学研究者で、国際シンポジウムのオーガナイザー、或いは日本側を代表するコ・オーガナイザーであること。</p> <p>2. 日本国籍を有する者、または日本への永住が許可されている者。</p> <p>3. 申請は1人につき同一年度内1件とする。</p>
助成金額	<p>最大 300 万円</p> <p>助成金の使途は定めない。ただし、懇親会費への充当は認めない。</p>	<p>最大 150 万円</p> <p>助成金の使途は定めない。ただし、懇親会費への充当は認めない。</p>
採択予定件数	原則として1件	同左
応募期間	2026年8月から11月までの間で、別途、当財団が定める期間	
応募方法	当財団ホームページトップ画面の「助成金申請 WEB 登録システム」から手順に従い応募すること。	
選考方法	<p>1. 学術委員会において書類選考のうえ、理事会に諮り決定する。</p> <p>2. 書類選考においては、学術性（集会の意義・効果）、招聘者の実績、プログラムの構成・内容、主催者（申請者）の経験・実績および過去の開催実績を評価ポイントとする。</p>	
選考結果発表	書類選考の結果を応募者全員にメールで通知し、採択者については当財団ホームページで発表する。	
助成金の交付	指定の国内口座（集会名あるいは、集会組織名の口座名義）に振り込む。	
助成受給者の義務	1. 開催計画に大きな変更が生じた場合は、理由を明記した変更届を提出し、当財団の承認を得ること。	

	<p>2. 終了後1ヶ月以内に開催概要及び収入・収支報告書を提出すること。特に当財団からの資金の用途については、明細を示し領収書を添付すること。</p> <p>3. 成果は積極的に公表し、その際には当財団の後援を受けた旨を表示すること。また、公表物の抜刷り等を一部、当財団に提出すること。</p>
事業費	国際シンポジウム助成事業費として5,523千円を見込んでおり、フューチャーブレイン株式会社からの寄附金を財源とする予定。

以上